

主要経済指標等 (2012年)

- 人口 434万人
- GNI 総額 108.32億ドル
- GNI 一人あたり 2,550ドル
- 経済成長率 3.8%
- 失業率 7.1%
- 対外債務残高 28.29億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) 1.39億ドル
- DAC分類 低所得国
- 世界銀行分類 iii / 低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対コンゴ共和国援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借 款	無償資金協力	技術協力
2009年度	-	4.38	0.43(0.36)
2010年度	-	0.09	0.34(0.30)
2011年度	-	7.29	0.42(0.42)
2012年度	-	0.07	0.98(0.93)
2013年度	-	2.79	1.86
累 計	-	55.76	7.18(6.51)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	-	54.1%(2005)
●目標2: 初等教育における純就学率	53.0%(2005)	92.6%(2011)
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.94人(1990)	0.95人(2011)
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	100.0人(1990)	96.0人(2012)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	670人(1990)	560人(2010)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	0.35%(2001)	0.31%(2011)
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	70.0%(1997)	72.4%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

コンゴ共和国に対する我が国ODA概要

1.概要

コンゴ共和国に対する経済協力は、1997年の内戦による政情悪化のために中断されていたが、1999年末の停戦合意を受けて2000年より研修員受入れを再開した。我が国は紛争下の支援として、WFP経由の食糧援助、UNICEF経由のマラリア予防のための蚊帳供与、UNDP経由の元民兵の社会復帰支援、コミュニティ開発支援等を実施してきた。その後の治安の安定化を踏まえ、2007年6月に草の根・人間の安全保障無償資金協力を開始した。

2.意義

原油産出国であるため、国民一人あたりの所得は比較的高いものの、都市周辺部や地方においてははまだ貧困問題が深刻であることから、貧困層に対する支援や「人間の安全保障」の推進、食料面での安全保障の確立等は、重要課題である。また、経済社会開発の多角化に向けて、産業開発の基盤となるインフラ分野における支援のニーズは高い。さらに、原油に加え鉄鉱石やリン鉱石等の鉱物資源が産出されるため、関心企業の進出を促すべく、ビジネス環境整備へ向けた支援を行うことも重要である。

3.基本方針

水産分野等における技術協力、国際機関を通じた貧困層の支援、食糧援助を中心に支援を行っていく。

4.重点分野

従来の食糧援助、保健・衛生分野を始めとした基礎生活分野の復旧支援、水産分野における協力を継続していく。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1の詳細)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	なし	7.29 億円 ・コミュニティ参加を通じた子どものための環境整備支援計画 (UNICEF連携) (5.29) ・食糧援助 (WFP連携) (1 件) (2.00)	
2012 年度	なし	0.07 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(1 件) (0.07)	
2013 年度	なし	2.79 億円 ・食糧援助 (WFP連携) (1 件) (2.70) ・草の根・人間の安全保障無償(1 件) (0.09)	
2013 年度 までの累計	なし	55.76 億円	7.18 億円 (6.51 億円) 研修員受入 174 人 専門家派遣 3 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

コンゴ共和国

表-3 我が国の対コンゴ共和国援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2009年	-	-	0.38	0.38
2010年	-	5.46 (5.46)	0.52	5.98
2011年	-	6.94 (6.82)	0.28	7.22
2012年	-	3.81 (3.81)	1.27	5.07
2013年	-	4.23 (4.07)	1.90	6.13
累計	-	44.16 (35.42)	8.88	53.04

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
 2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、コンゴ共和国側の返済金額を差し引いた金額)。
 3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
 4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2008年	フランス 392.60	日本 10.62	スウェーデン 1.57	米国 1.48	ドイツ 1.22	10.62	412.18
2009年	フランス 112.83	スペイン 44.35	ドイツ 35.25	イタリア 32.58	米国 12.72	0.38	262.84
2010年	フランス 918.93	イタリア 117.03	英国 78.75	ベルギー 60.58	米国 43.16	5.98	1,270.10
2011年	ドイツ 157.68	フランス 89.95	日本 7.22	米国 1.74	カナダ 1.63	7.22	260.97
2012年	ドイツ 38.06	フランス 34.66	米国 12.08	日本 5.07	スペイン 1.51	5.07	95.13

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2008年	EU Institutions 47.21	IDA 22.51	IFAD 11.37	AfDF 10.49	GFATM 4.79	15.31	111.68
2009年	EU Institutions 26.15	IDA 14.37	IMF-CTF 3.85	GFATM 3.67	GAVI 2.51	15.02	65.57
2010年	IDA 232.13	EU Institutions 32.17	GFATM 20.26	IMF-CTF 18.52	AfDF 14.26	18.03	335.37
2011年	EU Institutions 26.12	IDA 25.43	GFATM 10.68	IMF-CTF 5.72	GAVI 4.52	17.96	90.43
2012年	EU Institutions 39.97	IDA 30.03	AfDF 4.71	GFATM 4.14	IFAD 3.23	12.11	94.19

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件(開発調査案件を含む)(開始年度が2009年度以降のもの)

案 件 名	協力期間
ポワント・ノワール市水産物バリューチェーン改善プロジェクト	12.10~16.4

出典) JICA

表-7 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
聖エスプリ学校ムンガリ校新校舎・トイレ建設計画

主なプロジェクト所在図

ガボン、カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、赤道ギニア、ブルンジ、ルワンダ

(中央アフリカプロジェクト所在図が複数にわたるもの)

- ⑤食糧援助(WFP連携)(11)
- ⑥小学校建設計画(11)
- ⑧北部及び南東部における社会生活基盤の再構築計画(UNICEF連携)(11)

